

来日 30 周年記念発売



1988.9.7 パリ発 東京行、18,000kmの旅。

国鉄が JR 7 社に分割民営化され、「一本列島」のスローガンのもと青函トンネル・瀬戸大橋の開業等、日本全体が鉄道の新しい時代の到来に向けて希望に溢れていました。

1988 年 9 月 7 日、遠く離れた欧州の地、フランスのパリ・リヨン駅からこの希望に満ちた日本の東京駅に向けて、豪華列車「オリエントエクスプレス' 88」が発売しました。西欧、東欧、ソビエト、シベリア、モンゴル、中国を経て香港までの陸路 14,600km を、19 日間かけて運行。その後海路を辿り、10 月 6 日に山口県下松市に上陸し、日本の鉄道を運行するための改造、1,435mm から 1,067mm へ軌間を変更するための台車の換装、建築限界に対応するためのステップの撤去、屋根上装備の変更などの工事を受け、山陽本線、東海道本線を経て終点東京駅に至り、18,000km の旅を完了しました。



箱根ラリック美術館に収蔵されている原形に戻されたヨーロッパ仕様のブルマンカー 4158。今も当時のままの姿を見ることができる。

日本中が魅了された、そして・・・

オリエントエクスプレス' 88 は、その後 JR 各社の連携で日本各地を約 3 か月にわたって運行され、その美しい姿は日本中の人々を魅了しました。

12 月 25 日、上野駅からの最終運行では、復活した D51 498 号機と EF58 61 号機の重連運転が実現し、物語は最高潮に達しました。

運行終了後、来日した客車たちはヨーロッパへ戻りましたが、2004 年に、ブルマンカー 4158 が再来日。フランス人のジュエリーとガラスの工芸家ルネ・ラリックの作品を収蔵展示する「箱根ラリック美術館」に収蔵されました。現在も当時の雄姿を見ることができます。

運行後 20 年が過ぎた 2008 年、KATO はこのオリエントエクスプレス 88 の日本運行時の姿を N ゲージ模型化することが出来ました。当時、KATO で最高のクオリティと言われたこの製品は、現在でも多くの模型ファン、オリエントエクスプレスファンの皆様にご愛蔵頂いております。そして今年、日本国内運行から 30 周年を迎えました。

製品化から更に 10 年が過ぎ、後年この素晴らしい歴史に関心を持っていただいた皆様にも、KATO オリエントエクスプレス 88 をお届けしたいと考え、再販を企画させて頂くこととなりました。併せてこの出来事の証人である牽引機、D51 498 号機と EF58 61 号機も生産させて頂きまますので、この機会をお見逃しのなく、コレクションにお加えください。



N オリエント急行 ブルマン4158 6月
箱根ラリック美術館保存車 5152-9 ¥3,000+税

箱根ラリック美術館商品化許諾済 (株) ジーイーエム商品化許諾済



1988 年に実現した東洋と西洋の出会いから 30 年。
あの壮大でロマンティックなドラマが、今年再び KATO の N ゲージでよみがえります。



N D51 498 オリエントエクスプレス 6月
1988 年 12 月 25 日、上野発の国内最終列車の牽引機。 2016-2 ¥12,500+税



N EF58 61 4月
3038 ¥6,700+税
元お召列車専用機関車。気品溢れる姿でオリエントエクスプレス 88 を牽引。



N EF65 1000 後期形 (JR仕様) 5月
国内運行時の直流区間で、最も活躍した機関車。 3061-2 ¥7,200+税



N オリエントエクスプレス' 88 5月
7両基本セット 10-561 ¥16,000+税 6両増結セット 10-562 ¥14,000+税

*表示価格は本体価格で、消費税が別途かかります。
*発売時期・仕様・価格などは、予告なく変更することもあります。
(株) ジーイーエム商品化許諾済 JR 東日本商品化許諾済
JR 東海承認済 JR 西日本商品化許諾済 JR 四国承認済